

JCI-TC182A

既設コンクリート構造物の予防保全を目的とした調査・診断・補修に関する研究委員会

第 1 回幹事会 議事録(案)

日 時：2018 年 4 月 19 日（木）09:00～12:00

場 所：JCI 本部会議室

出席者：竹田委員長、十河顧問、山口幹事、田中幹事、江良幹事

戸口事務局

欠席者：濱崎幹事

配布資料：

幹 1-0 幹事会議事次第

幹 1-1 2018 年度 新規専門委員会（様式 2）

委員名簿案（様式 3）

委員会概要、2018 年度研究課題応募用紙

幹 1-2 2018 年度新規専門委員会 運営説明会資料

幹 1-3 FS 報告書

幹 1-4～1-7 FS 議事録

幹 1-8 平成 30 年度の良好な学会運営に向けた暫定的運用について

議事：

1. 委員会名称と位置付け

- ・委員会名称は「JCI-TC182A 既設コンクリート構造物の予防保全を目的とした調査・診断・補修に関する研究委員会」とする。
- ・本委員会の活動期間は 2 年間である。活動期間終了後の 2020 年秋をめどにシンポジウムを開催する。
- ・1 年目の予算は 100 万円。

2. 委員構成

- ・FS の委員 18 名＋顧問 1 名は本研究委員会にも継続参加を依頼することとし、4 月中に本人の承諾を得る。
- ・あと 2 名の委員枠があるため、今後、下記の条件に該当する委員候補を選出、参加依頼する。
 - ①管理者および設計者の立場として、東電設計の堤氏に参加依頼する
 - ②土木学会コンクリート標準仕様書[維持管理編]との整合をとるために、同編集委員のなかから適任者を検討し、参加依頼する
- ・ホームページ担当は引き続き湯地氏に依頼する。
- ・委員は理事会承認事項となるため、全体委員会の開催は理事会以降となる。

3. WG 構成とメンバー（案）

- ・以下の3つのWGを設置する。

WG1：調査・診断・補修技術の体系化

WG2：調査・診断・補修技術の適用性評価

WG3：手順書作成

- ・各WGの主査および構成メンバーの案は基本的にFS時のWG構成を踏襲し、以下のとおりとする。（委員が確定した段階で改めて依頼する）

WG	主査	メンバー
WG1（体系化）	濱崎	江良、山本、花房、飯塚
WG2（適用性評価）	山口	井上、審良、皆川、宮内、都築、
WG3（手順書作成）	田中	野島、上田、遠藤、湯地、位田、（江良）

- ・WG3には江良も参加する。
- ・2年目のWG3には幹事団全員が参加する。

4. 成果品のイメージ

- ・成果品は「研究員会報告書（100頁前後）」＋「手順書（案）」とする。
- ・予防保全が事後保全に比べて有利となる事例研究、ケーススタディを行い、LCCも含めて検討する。
- ・新設構造物への適用は本報告書から除外する。
- ・予防保全的観点に立った意識調査、実態調査、アンケートなどを地域限定で実施してみてはどうか。

5. スケジュールその他

- ・第1回全体委員会を2018年6月15日に開催予定。（※後日の日程調整の結果、変更となった）
- ・幹事会、WGは必要に応じて随時開催もしくはメール審議を行う。
- ・予算が低く抑えられているため、会議を招集できる回数が限られる。各活動についてはなるべく低費用で行うよう工夫して推進する。
- ・幹事会やWGを開催する度に、戸口事務局にて累計費用を集計していただき、予算残高を把握する。

以上

【記録：江良和徳】